

芳ヶ平周辺地域におけるニホンジカ対策

予算区分：県単	研究期間：令和 5 ～ 7 年度	担当：企画・自然環境係 山田 勝也
---------	------------------	-------------------

I はじめに

近年、ニホンジカ（以下、シカ）による生態系への影響が日本各地で報告されている。平成 30 年度から令和 4 年度にかけて、芳ヶ平湿地群（以下、芳ヶ平）におけるシカの利用状況を調査した結果、大平湿原ではミズバショウの食害が顕在化し、直近では開花株が全く見られない状況になっていることが明らかとなった。また、芳ヶ平同様、上信越高原国立公園に所在する野反湖においては、シカの利用頻度は低いものの、植生被害が散見されることが確認された。

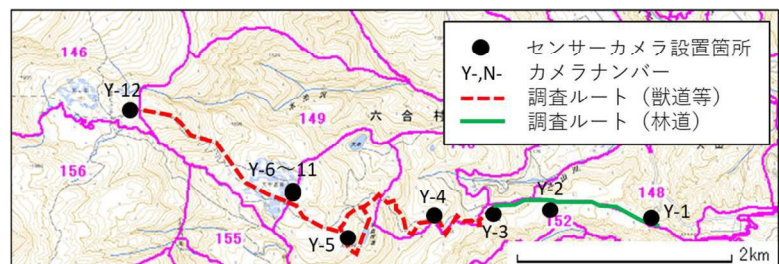
そこで、芳ヶ平のシカの影響をモニタリングし、対策手法の検証に向けた調査を実施するとともに、野反湖におけるシカのモニタリング調査も開始した。

II 方 法

1 芳ヶ平湿地群

（1）モニタリング調査

芳ヶ平湿地群においては、新設の 4 台を含む 12 台のカメラを用いてモニタリング調査を行った（図－1）。今回は、ミズバショウの食害が確認された大平湿原において、ミズバショウの食痕調査とカメラトラップ調査



図－1 芳ヶ平湿地群のカメラ設置地点

結果について報告する。カメラトラップ調査においては、同一個体が重複して撮影される影響を排除するため、明らかに別個体と判別できる場合を除き 30 分以内の撮影を 1 回の出現とみなした。ミズバショウの食痕調査は、カメラ Y-6, 7 を起点に半径 10m 以内に生育するミズバショウを踏査により確認した。

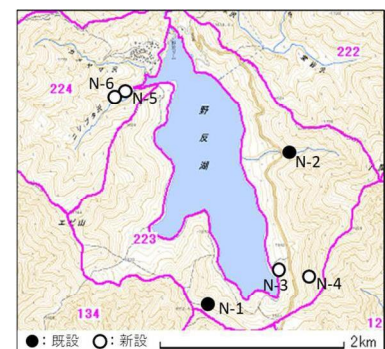
また、聞き取り調査により芳ヶ平湿原周辺においてもシカの見撃情報があったことから、芳ヶ平野営場のニッコウキスゲ生育地にもカメラを 1 台設置し（Y-12）、シカの出現や食痕の有無を確認した。

（2）GPS による移動経路調査

GPS データ（群馬県鳥獣被害対策支援センター提供、機種：VERTEX Plus VECTRONIC Aerospace 社、装着：2021 年 10 月 7 日メス成獣、測位間隔：2 時間）から移動経路及び行動圏を算出し、2022 年と 2023 年の動向を比較した。解析には、R 4.3.2 (R Core Team 2023) 及び QGIS ver 3.34.0 (QGIS Development team 2023) を使用した。

2 野反湖におけるカメラトラップ調査

野反湖周辺において、既設のカメラ 2 台に 4 台を追加し、合計 6 台のカメラによるモニタリング調査を開始した（図－2）。今回は、シカの出現の有無や動向を確認した結果を報告する。



図－2 野反湖のカメラ設置地

Ⅲ 結果及び考察

1 芳ヶ平湿地群

(1) モニタリング調査

2023 年 5 月 31 日にミズバショウの食痕調査を行った結果、96% (n=25) のミズバショウに食痕が確認され、うち 16%は地上部がない状態であった。ミズバショウの消長が確認できたカメラ Y-6 を確認した結果、6 月 3 日にはミズバショウの地上部が食害で視認できなくなっており、昨年度から約半月消失が早まっていた。

Y-6 における 6 月のシカの撮影回数/日を図-3 に示す。2022 年の動向と異なり、ミズバショウの消失後はシカの利用頻度は高まることはなかった。

また、芳ヶ平野営地においては、7～9 月の調査ではシカは一度も記録されず、ニッコウキスゲの食痕も確認されなかった。

(2) GPS による移動経路調査

のべ 650 日 (2022 年 1 月 1 日～2023 年 10 月 12 日) の GPS データから得られた 7,697 箇所位置情報から、年別の移動経路の比較を図-4 に示す。昨年同様、2022 年 10 月～2023 年 3 月までを長野県上田市で越冬し、同じ経路を利用して芳ヶ平へ季節移動していることが確認された。2023 年の芳ヶ平利用開始日は 3 月 30 日であり、2022 年の 4 月 18 日から侵入が半月ほど早まったことが明らかとなった。

また、芳ヶ平における 2 か月ごとの行動圏を年別に比較した結果を図-5 に示す。全期間を通じて共通に利用する行動圏の位置や面積に大きな変動はなかったが、2023 年は大平湿原における行動圏が確認されなかった。位置情報から、6 月 19 日に一度だけ大平湿原まで侵入していることを確認しており、カメラでも索餌の様子を記録している。しかし、6 月上旬にはミズバショウが消失しており、餌資源不足が行動圏として利用されなかった要因の一つであると考えられた。

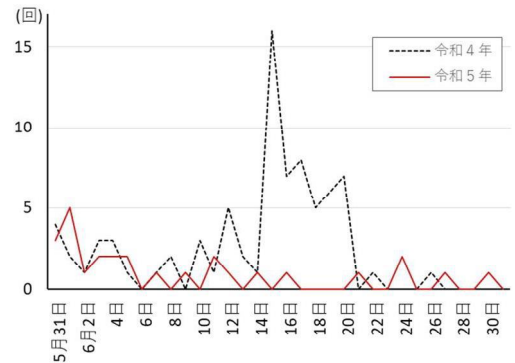


図-3 6月のシカ撮影回数/日

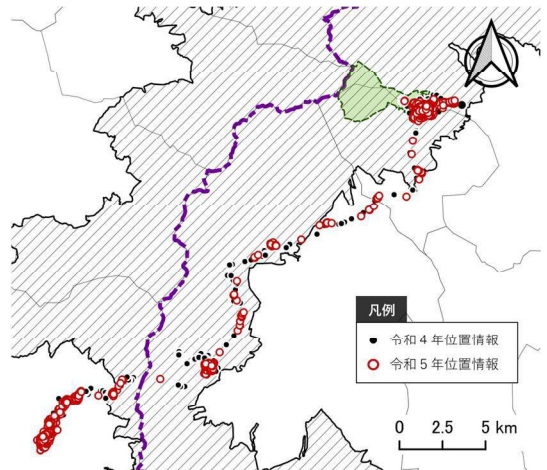


図-4 2022, 2023 年の移動経路比較

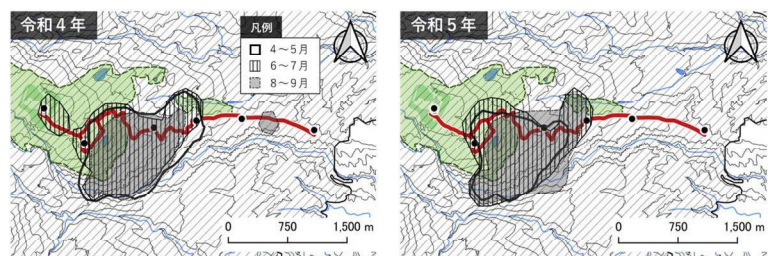


図-5 2022, 2023 年の芳ヶ平における行動圏の比較

2 野反湖におけるカメラトラップ調査

5～10 月のカメラトラップ調査の結果、湖畔 (N-3) を除くすべてのカメラ設置箇所からシカが記録された。新設したシラネアオイ植栽地 (N-4) やニシツタ沢沿い (N-5, 6) でもシカが撮影され、踏査での植生被害やカメラでの採餌の様子も確認された。今後、植物種ごとの被害を調査する予定である。